農政 部 農地整備 課

分野		ため池の補強等				事業 番号	3	事業	集名 県営ため池等整備(農村					付災害対 策	簑)				
市町村名		中川村	ふりがな 箇所名			かたぎり 片桐						事業年度 (完了年度は見込み						H29 年度	
	区分			事業内容					主当	美費(千F	円)				財源内	訳(千円)		
事	四刀								予不良(113)		玉	庫	-	その他	県債	責	一般財源		
業概	全体	(堤体 取水) 農業用用	での記録値 「 TL=197m、ク 施設3箇所、 月排水施設整 施設工1箇所	ブラウトエ20 余水吐エ3億 備				500,000		250,000 10		05,000	130,0	00	15,000				
要	H25年度	ため池調	量設計	設計 1式			35,000			17,	17,500		7,350	9,00	0	1,150			
	区分	評価項目•指標等							評 価								ク	評点	
		保全対象人家戸数			■ 10	■ 10戸以上			□ 1~9戸			□ 0戸						15	
	必要性	保全対象公共施設			■ 2億	■ 2箇所以上			□ 1箇所			ロなし				Α		5	
	(20)	,																	
		小 計				ti tuli												20	
		水利施設としての依存度				■ 依存度 大			□ 依存度 中			□ 依存度 小			_		7		
						□ 100ha以上			■ 40ha以上100ha未						А	Α	4		
	(15)) 防災計画上の位置づけ			■位	■ 位置付けあり			□ 位置付けなし								3		
		小計															14		
	防災効果(B/C)				1 .2	以上			□ 1.1以上1.2未満			□ 1.0以上1.1未満					4		
箇 効率性		早期発現度(効果発現まで)			□ 5年	□ 5年未満			■ 5年以上10年未満			閩 □ 10年以上					2		
所	(10)	ローカルスタンダート (L.S.) 計画及びコスト縮減及び代替案検討等			□ (様:	式4) 3項	目以上詞	亥当 ■	(様	様式4) 2項目該当		当 口	□ (様式4) 1項目該当			A		2	
評			小	 計														8	
		施設への影響			□影	□ 影響が明白			■ 影響が推定される			□ 影響の兆候がある					7		
価 緊急性		周辺へ与える影響			□影	□ 影響が明白			■ 影響が推定される			□ 影響の兆候がある				=		7	
	(35)	過去の被災履歴 (河川管理者からの改善要求等)				三以内に (善要求						左記以(改善額		ニ被災有 なし)	В		7		
		応急対策の実施状況			口応	急対策	実施中		過:	去に実施	酒済み	済み □ 応急対策未実施					3		
		小計																24	
		地域からの要望			■地な	□副///□图//			□ 市町村からの要望 がある			□ 特に要望ない					6		
	計画 熟度	事業情報の共有				/미지I			■ 関係者を中心に居 知			日 村に向知してない				В		3	
	(20)	住民参加の状況			民が計画 接参加	画策定	<i>E</i> ■	■ 住民や市町村 を計画策定は			見 住民意見は反映していない					4			
		小 計															10		
費用対効					1			評	ſì	動の	合	計				Α		13 79	
事業	事業実施! 史的経緯・ 背景 地域からの 緯	·社会的		吐は通水断面の 主要町村道があり 格】小和田用水路 まが位置し、崩落 別組合及び小和	不足で緊急の、決壊した の、決壊した がました。 がました。 がある。 がある。 は大による による に対している。 は大による	急時排水に場合の初かれた場合の初かれた。 は場合の初かれた。 被害は甚らない。 は合、田島	こ対応で 被害は甚 の崩落に 法大で早急 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	きない# 大で早点 こより通え 急な整備 日合から	代況、I 急な整 水がで が必 が必	取水施設は 備が必要できず、暫定 要である。 通じて改値	は老朽化である。 詳置でき	天竜川が	がらポンプ	:の安 により る。	定供給がで	きない状況	である。 る。トン	また、各ため池 ネル上部には宅	
用	事業説明等	・各ため池では、今後、水利組合及び く。 ・小和田水利組合では、受益者に対し														が費用負担	!につレ゙	て調整してい	
辺 環境・景観環項目		れる配 計画しているため池3箇所におマツナギ(マメ科)の自生が確認			おいてミヤ 認されてい	に対し事業計画説明を行い、合意形成及び、費用負担については調整済である。 いてミヤマシジミ(シジミチョウ科:環境省絶滅危惧Ⅱ類、県RDB準絶滅危惧)の生息が確認され、また、その食草のコ らされている。その他にも、ナデシコ、ユウスゲなどの自生も確認された。掘削の際、食草のコマツナギやミヤマシジミ ソナギの移植等に配慮して行う。													
境	他事業・プ との関連	理事業・プロジェクト の関連 特になし。																	
	特記事項	特になし。													-				
	地域の合意形成 □ 全員賛成 ■ 概				■ 概:	ね賛成			過	<u></u> 過半数賛成			□ 動向不明						
	おき見 ため池及び排水路等の施設の老朽化により災害防止機能が低下しており、下流域の民家・公共施設等保全対象が多い事から、必要性、緊急性が高い。											要性も認められる。							